**令和４年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ**

**佐賀市立本庄小学校**

　４月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため，児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに，児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

　結果を基に，本校児童の学力の傾向を分析し，学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

**■　調査期日**

　　　令和４年４月１９日（火）

**■　調査の対象学年**

　　　　小学校６年生児童

**■　調査の内容**

　（１）　教科に関する調査（国語，算数，理科）

|  |
| --- |
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。  ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。  調査問題では，上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については，記述式の問題を一定の割合で導入する。 |

（２）　生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

|  |  |
| --- | --- |
| 児童に対する調査 | 学校に対する調査 |
| 学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面に関する調査  （例）国語への興味・関心，授業内容の理解度，読書時間，勉強時間の状況など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査  （例）授業の改善に関する取組，指導方法の工夫，  学校運営に関する取組，家庭・地域との連携の状況など |

■調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり，教科は国語と算数・数学・理科に限られています。さらに，出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって，この調査によって測定できるのは，「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることを御了解の上，ご欄ください。

**■　調査結果及び考察**

**１　国　語**

1. 結　果

　　 「話すこと・聞くこと」「知識・技能」は，全国平均正答率を上回っています。しかし，「書くこと」「読むこと」については，全国平均正答率を下回っています。

また，無解答率をみると，ほとんどの問題で全国平均よりも低くなっています。

1. 成果と課題

　　　　今回の調査で，「知識・技能」が2.1ポイント上回りました。国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹をなす言葉の力であり，学校全体で取り組んでいるパワーアップタイムや，普段の宿題などで取り組んでいる漢字や言葉の学習，音読などの成果が表れていると考えられます。課題は，「書くこと」，「読むこと」の力を伸ばすことです。「書くこと」については，文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整える力が求められます。また，文章に対する感想や意見を伝えあい，自分の文章のよいところを見つける力も必要です。また，「読むこと」については，文章を読み，登場人物の気持ちや相互関係に着目して，文章の全体像を想像したり表現の効果を考えたりする力が求められます。単なる「知識」を問う問題ではなく，「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので，授業改善を通して，日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

1. 学力向上のための取り組み

**【学校では】**

* 教科の学習において，漢字の読み書き，ことわざ等の学習，辞書の活用などを通して，基礎的・基本的な知識技能を着実に獲得できるようにします。
* 目的や意図に応じて，自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
* インタビュー，案内や紹介など，日常生活につながり，かつ子供たちの学習意欲を喚起できるような言語活動を授業場面で設定し，その充実に努めます。
* 習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで，表現力を向上させていきます

**【ご家庭では】**

* 宿題等で課されている音読を大切にしましょう。繰り返し音読することで，文の構成，言葉の意味を理解し，文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み，要点や意図を捉えることは，国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
* 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術等，様々な本を読み，多様な表現や用語にふれることで，語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や本屋に定期的に行くことも，子供の読書習慣をつける上でおすすめです。時には御家族で読み聞かせの時間などを設け，読書に親しむ環境づくりをするのもよいでしょう。

**２　算数（数学）**

1. 結　果

すべての領域で全国平均正答率を下回っています。また，無解答率を見ても，ほぼすべての問題で全国平均か，それ以上となっています。

1. 成果と課題

今回の調査では，すべての領域において，全校区平均正答率を下回る結果となりました。また，無回答率も高く，それぞれの領域に課題があると考えられます。まず，教科における基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着が求められます。そして事象を数理的にとらえ，数学の問題を見出し，問題を自立的・協同的に解決し，解決過程を振り返って概念を形成したり体系化したりする過程を重視する必要があります。

1. 学力向上のための取り組み

**【学校では】**

* 教科としての基礎的・基本的な知識・技能の定着を目指します。全校で取り組んでいるパワーアップタイムなどでは，必達目標を設け，子供たちの力を客観的な数値で把握し，適切な指導につなげられるようにします。
* 式から答えを出すだけではなく，式の意味を考えさせたり，式に合う問題を作らせたり，式から生活場面を想起させたりしながら，式，絵や図，具体的場面を往還させるようにします。
* 様々な見方や考え方ができるように，グループで話し合う活動を取り入れていきます。また，自分の考えを，式や言葉を使って，論理的に書く機会を増やし，記述力の向上に努めます。
* ＴＴ少人数指導を適切に配置し，補充指導に努めます。

**【ご家庭では】**

* 学校から課される宿題等の取り組みを確実にさせてください。間違った問題についてはそのままにせず，やり直しまでさせましょう。教科書の発展問題に取り組んだり，類似問題に取り組んだりして，力の定着を図りましょう。
* 問題場面を正しく理解してイメージしたり，順を追って説明したりできるようにしましょう。
* 低学年の子供たちにとっては，具体物の操作も有効です。

**３　理科**

1. 結　果

「粒子」「地球」の領域で全国平均をやや上回っています。しかし，「エネルギー」「生命」の領域では，全国正答率をやや下回っています。また，無解答率を見ると，ほぼすべての問題で全国平均か，それ以上となっています。

1. 成果と課題

今回の調査では，「エネルギー」と「生命」の領域で全国正答率を下回りました。特に「生命」の領域では、自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する力に課題があります。また、両領域において、提示された情報を複数の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつ力にも課題があることが分かりました。さらに、実験器具の名前を問う問題や，光の性質の基礎的な問題に課題が見られたため，基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る必要があると考えられます。

1. 学力向上のための取り組み

**【学校では】**

* 実験道具の名称やその使い方など，実験・観察を適切に行うための基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。
* さらに，「事象提示→課題→予想→実験・観察→結果→考察→課題…」という学習過程を踏まえ，児童の思考力，判断力，表現力を向上させます。
* 様々な見方や考え方ができるように，グループで話し合う活動を取り入れていきます。また，結果に対する考察を論理的に書く機会を増やし，記述力の向上に努めます。

**【ご家庭では】**

* 学校で行った実験や観察の内容に終始することなく，身の回りの様々な自然事象に興味をもたせる工夫をしましょう。「なぜ」「どうして」をきっかけとした課題追究の場面を設けましょう。
* 理科の学習においても，国語科や算数科の学習と関連する部分が多くあります。実験や観察の手順を適切に説明したり，準備したりする力を強化汎用的に高めていく意識が大切です。
* 佐賀県立宇宙科学館や佐賀県立博物館などに足を運んでみましょう。

**４　生活習慣や学習習慣に関する調査**

（１）結果

　≪生活習慣・挑戦心・規範意識について≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査項目 | 本校　％ | 全国平均 ％ |
| 朝食を毎日食べていますか。 | 85.1% | 84.9% |
| 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。 | 54.1% | 40.7% |
| 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 | 64.9% | 56.8% |
| 自分にはよいところがあると思いますか。 | 41.9% | 39.4% |
| 難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか。 | 41.9% | 27.6% |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 | 81.1% | 75.1% |
| いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | 82.4% | 83.9% |

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して，これからも継続していきます。

　挑戦心や規範意識の項目については，肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

≪家庭学習の様子≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査の項目 | 本校％ | 全国平均 ％ |
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 | 29.7% | 27.5% |
| 学校の授業時間以外に，普段１日当たりどれくらいの  時間勉強していますか。「３時間以上」 | 6.8% | 11.3% |
| 「２時間以上，３時間より少ない」 | 16.2% | 13.8% |
| 「１時間以上，２時間より少ない」 | 24.3% | 34.3% |
| 「３０分以上，１時間より少ない」 | 28.4% | 25.8% |
| 「３０分より少ない」 | 20.3% | 10.5% |
| 「全くしない」 | 2.7% | 4.2% |

　　家庭学習については全国平均とほぼ同等ですが，１時間未満の児童が半数近くおり，中には全く家庭学習をしていない児童もいました。個人差が大きく見られるので，家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また，自分の目標に向かって，計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

（２）改善に向けての取り組み

**【御家庭では】**

* 規則正しい生活と家庭学習の習慣を定着させることは，小学校という発達段階を鑑みても極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき，少しでも向上したときを逃さず，褒めることで意識が更に高まります。また，御家庭の粘り強い御協力が必要です。
* 「本庄小家庭学習の手引き」をご覧になり，学習時間のめやすや，自主学習の説明を参考に，自分で決めて学習できるように励ましてください。

**【学校では】**

* 学校からは，学年に応じた宿題を出しています。また，反復的な作業に陥らないように，自主学習の機会を設けるなどに取り組んでいます。
* 児童の読書環境を整えるために，図書室から図書室だよりを発行しています。おすすめの本を紹介したり，貸出冊数の目安を掲示したりするなどして，読書を奨励しています。
* 保健室からも，保健室だよりを発行しています。健康的な生活の啓発や季節に応じた健康の保持について，子供たちにもわかりやすい情報を交えながら発信しています。